

熊本高校に進学、人吉を出て熊本市内の親戚宅に下宿した。野球と彼女に夢中だった。高校で初めて、呼吸ができると思いました。できる人ばかりで、無理をする必要がなくなっただけです。

野球部に入りました。どんなに暑くても「水は飲むな」という時代、合宿では水道近くにわざとボールを転がし、こっそり飲んでしまいました。きつかった。2年生時は県のベスト8ま

人間発見

で進みますが、15、16人いた同級生のうち残っていたのは2人だけ。もう1人はキャプテンだった丸内務君です。7月の豪雨後、人吉に実家の片付けを手伝いに駆けつけてくれました。

2年の文化祭の「大事な人」に手紙を届けます」というイベントで「あなたは他の人と違うと思う、ずっと一緒にいたい」と手紙を受け取りました。名前はなかったのですが、年賀状を調べて分かりました。差出人は1

③ モテる大人に育てたい

高浜 正伸さん たかはま まさのぶ
花まる学習会代表

年の時に一番モテていた仲良しの同級生。3年になってマネージャーとして入部してきました。彼女は精神年齢が20歳ぐらい上で思考が大人。家庭に不幸があったり、高校中退して働く親友がいたりしていたからか、大事なことは何かを見抜いているようでした。彼女に精神的に育ててもらったときなものです。毎日、自転車と並べ、彼女を自宅の近くまで送りましたが、何気なく「九州女学院は制服がかわいい。かわいい子はかりだ。

熊高はおぼさんばかりだ」と軽口をたたくと「九女の」と付き合ったことあったっけ？」とパシッと切り捨てられました。突然「別居結婚っていいと思わない？」と言われ驚いたことでもあります。男の論理を振りかざすとヒシパシやられた。「後で分かると思う」と何度も言われました。至らない男を立てつつうまく動かすのが女の腕の見せどころ、という感じでしょう。3年ほど付き合いました。

彼女から人生を学ぶ

3浪4留で得た財産

東京大学に進む。高校時代は全く勉強しませんでした。父親が医者なので、先生からは進路指導で「熊本大学医学部を受けるだけ受けるたい（受けたら）。予備校どこにするや」と言われました。浪人2年目まではやる気が起きずパチンコとマーじゃん。半年間は実家に戻されましたが、漫画を読んで同じつもり。3年目はさすがに焦りました。東京の駿台予備校に入り、小学6年生以来の猛勉強をしたのです。ここでも先生が面白かった。

哲学や人生観を持って、教えてくれていました。本質で迫ってくる。教育の分野へ進もうと思っただけのひとつです。大学に入学しましたが、1年間の禁欲生活で「風船は飛んで行ってしまいました」状態。結果的に4留しました。彼女もいきましたが、落語や映画にはまりました。落語は10日間の公演に連日詰めたり、映画は一晩見たり。今、講演で面白いと言ってもらえるのは、この時期に染み込んだものです。



高校時代は野球部に所属し「全く勉強はしなかった」という

長く留年したことで良かったこともあり。僕には5学年分の同級生がいます。これは大きな財産です。